

むつみ

初発行日 平成 11年5月
 発行日 平成 24年7月24日
 発行所 社会福祉法人足利むつみ会
 住所 栃木県足利市利保町49-4
 発行責任者 阿由葉 寛
 電話 0284-43-0414 FAX 0284-41-4687

『松本施設長』

社会福祉法人足利むつみ会理事長 阿由葉 寛



去る5月28日、午後3時32分、「セルフみなみ」の松本純幸施設長まつもととしゆきがお亡くなりになりました。1週間ほど前に検査入院をされ、私も2回ほどお見舞いと事業の進捗状況をお伝えするために病院へお伺いをさせていただきました。松本施設長は利用者の皆さんと職員のことを気にかけて、「早く治して施設に行かなければ」と話されていたので、私も「早く元気になって、お願いします」とお話しをしていました。5月28日の当日は法人の理事会・評議員会があり、終了してすぐに報告も兼ね、WIN施設長と病院を訪ねました。病院に着いたのが午後3時30分になるかならないくらいでした。病室に入れず、

あわただしく看護師さんたちが病室に出入りするのを、どうしたんだろうと見ておりましたが、直後に松本施設長の奥様から、今亡くなられたということをお聞きし、その時から、私の心にはぽっかりと大きな穴が開いたままになっています。理事長として、管理者として、やらなくてはならないことへの対応はきちんと進めているつもりですが、どんなことでも相談させていただき、アドバイスをいただくことで安心して進めてこられたのは、松本施設長がおられたからでした。これからのことを考えると不安もありますが、松本施設長に安心していただけるよう、法人の力を結集し、この苦難を乗り越えていかなければなりませんので、関係者の皆様の御支援と御協力をお願いいたします。終わりに、謹んで、松本施設長のご冥福をお祈りいたします。

kitaZato 社会就労センター きたざと

きたざとでは、下請け作業の一環として佐川急便から依頼を受け、ダイレクトメールの封入作業に力を入れています。イベントごとに様々な内容のダイレクトメールを組み込み、宛名を貼りつけ出荷をするという一連の流れの作業を行っています。初めは、職員、利用者共に試行錯誤しながら作業を進めていましたが、少しずつ作業の流れをつかみ、全員が力を合わせて作業を進める事が出来るようになりました。毎回作業内容が変わり、戸惑う部分もありますが、その都度力を合わせて作業を行っています。職員、利用者全員が仲間意識を持ち、“協力”“励まし”“達成感”を感じながら作業を行い、楽しみながら作業を行い、作業の質を高めていけるように毎日作業を進めています。今後のきたざとの成長を期待して頂きますよう、よろしくお願い致します。



サンプル作りをしています！
 お客様に喜んでいただけるように、
 丁寧な作業を行います。



完成です!!



宛名貼りをしています！
 このままお客様の
 ご自宅に届きます。

平成24年4月
オープン!!

きずな
セルプ絆

ジョブサポート絆(就労移行支援事業)
peterpan (就労継続支援事業)



近藤 照夫
副管理者

◎副管理者挨拶◎

平成24年4月の「セルプ絆」の開所と同時に仕事に就いて3か月余りが過ぎました。昨年の未曾有の被害をもたらした東日本大震災後に、多くの人々が助け合い、支え合いの大切さを実感し、日頃から「絆」を結び強めることの重要性を再認識しました。「セルプ絆」は、多くの様々な人々と関係性を保ちつつ、自分の力で生きて行けるよう支援することにあることから、この目標に向かって努力してまいりますので、よろしくお願いたします。

◎ジョブサポート絆の取り組み◎

ジョブサポート絆では、これまでにない新しい取り組みとして「公文式学習」を導入し、就職に向けた訓練を進めています。

午前中は、挨拶や詩の朗読、論語の素読を行い、脳を活性化させながら大きな声を出し訓練をした後、公文式の教材を使用し、個々の能力に応じた学習に取り組んでいただいています。ここでは、単に学力を身につけるだけでなく、就職に必要な集中力、思考力、向上心を養い、働き続けるために必要な力を持った社会人を育てる事を目的としています。午後は、職場で必要となるコミュニケーション能力を身に付ける訓練やハローワークでの求職活動、軽運動等を行っています。

スタートしたばかりの為、この取り組みを周知させていくことも課題となりますが、一人でも多くの方々に一般就労への移行支援を進めるために、職員一同力を合わせて取り組んでいきたいと思ひます。



駐車場が広くなり、
利用しやすくな
りました!

©peterpanより◎



セルプみなみ



5月28日に松本施設長がお亡くなりになりました。皆様、松本施設長が抜けたセルプみなみをご心配くださっていると思ひます。しかし、セルプみなみでは6月から阿由葉理事長が新施設長となり、新体制を整えました。

また、作業では減少していたハンガー洗浄作業に代わり、6月から(株)中村電線工業様より、電線部品製造のお仕事を頂きました。6色の電線を決められた順番でコネクタに差しこみます。差し込んだらチューブに通し、電線の反対側にもコネクタをつけます。両端にコネクタを付けた電線を、輪ゴムで25本ずつの束にしたら完成です。電線をコネクタに差し込む担当、チューブに電線を通す担当、2つめのコネクタを付ける担当に分かれて作業します。



電線差し込みは流れ作業です。一人が電線を2本差し込み、次の人に渡します。次の人も2本差し込み、また次の人に渡し3人目で6本差し込み完成です。



チューブの長さが長く、座ったままでは作業しづらいため、チューブに通す時は立ったまま作業をします。



2つめのコネクタを付ける作業では、1人で全色の電線を差し込むので、間違えないように順番を図で確認します。

初めての作業に、利用者さんも最初は慣れず大変そうでしたが、1日1日と作業スピードも上がり上達しています。このように、利用者さんも職員も一丸となって頑張っています。どうぞ、セルプみなみを今後とも宜しくお願いします。

平成23年度 決算報告

貸借対照表

(平成24年3月31日現在) (単位:円)

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減	
流動資産	251,706,847	199,930,353	51,776,494	流動負債	81,027,298	46,018,577	35,008,721
現金預金	120,947,846	73,387,070	47,560,776	未払金	78,503,764	38,964,019	39,539,745
商品・製品	0	128,000	-128,000	預り金	2,048,534	2,729,097	-680,563
原材料	926,299	1,105,842	-179,543	前受金	475,000	60,000	415,000
未収金	128,867,542	118,920,987	9,946,555	その他の流動負債	0	4,265,461	-4,265,461
立替金	515,160	1,250,293	-735,133	固定負債	449,741,380	481,516,246	-31,774,866
前払金	450,000	450,000	0	負債の部合計	530,768,678	527,534,823	3,233,855
仮払金	0	422,700	-422,700	純資産の部			
その他の流動資産	0	4,265,461	-4,265,461	基本金	160,610,050	160,610,050	0
固定資産	1,323,552,792	1,297,355,945	26,196,847	国庫補助金等特別積立金	283,216,837	311,067,105	-27,850,268
基本財産	894,798,834	914,565,519	-19,766,685	その他の積立金	289,699,120	231,349,809	58,349,311
その他の固定資産	428,753,958	382,790,426	45,963,532	次期繰越活動収支差額	310,964,954	266,724,511	44,240,443
				次期繰越活動収支差額	310,964,954	266,724,511	44,240,443
				(うち当期活動収支差額)	102,589,754	90,229,782	12,359,972
資産の部合計	1,575,259,639	1,497,286,298	77,973,341	純資産の部合計	1,044,490,961	969,751,475	74,739,486
				負債及び純資産の部合計	1,575,259,639	1,497,286,298	77,973,341

事業活動収支計算書

(自) 平成23年4月 1日

(至) 平成24年3月31日 (単位:円)

	勘 定 科 目	本年度決算	前年度決算	増 減	
就労支援事業活動の部	収入	就労支援事業収入	32,571,636	27,813,784	4,757,852
		就労支援事業活動収入計 (1)	32,571,636	27,813,784	4,757,852
	支出	就労支援事業販売原価	32,547,282	28,233,406	4,313,876
		販売費及び一般管理費	0	2,030,477	-2,030,477
	引当金繰入	15,370	39,672	-24,302	
	就労支援事業活動支出計 (2)	32,562,652	30,303,555	2,259,097	
	就労支援事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	8,984	-2,489,771	2,498,755	
福祉事業活動の部	収入	介護福祉施設介護料収入	242,186,207	245,128,160	-2,941,953
		居宅介護支援介護料収入	3,760,140	4,819,120	-1,058,980
		利用者等利用料収入	73,941,166	73,996,616	-55,450
		自立支援費等収入	308,291,631	264,192,830	44,098,801
		補助事業等収入	26,596,565	70,468,962	-43,872,397
		その他の収入	65,829,711	37,483,756	28,345,955
		国庫補助金等特別積立金取崩額	22,159,094	21,651,329	507,765
		福祉事業活動収入計 (4)	742,764,514	717,740,773	25,023,741
	支出	人件費支出	426,619,747	409,710,111	16,909,636
		事務費支出	84,561,239	91,061,611	-6,500,372
		事業費支出	51,799,825	51,358,979	440,846
		減価償却費	63,925,004	60,088,141	3,836,863
		その他の支出	3,135,074	2,929,000	206,074
		福祉事業活動支出計 (5)	630,040,889	615,147,842	14,893,047
	福祉事業活動収支差額 (6) = (4) - (5)	112,723,625	102,592,931	10,130,694	
事業活動外収支の部	収入	事業活動外収入計 (7)	198,644,136	256,804,815	-58,160,679
	支出	事業活動外支出計 (8)	208,670,808	267,412,592	-58,741,784
		事業活動外収支差額 (9) = (7) - (8)	-10,026,672	-10,607,777	581,105
	經常収支差額 (10) = (3) + (6) + (9)	102,705,937	89,495,383	13,210,554	
特別収支の部	収入	特別収入計 (11)	0	19,403,000	-19,403,000
	支出	特別支出計 (12)	116,183	18,668,601	-18,552,418
		特別収支差額 (13) = (11) - (12)	-116,183	734,399	-850,582
	当期活動収支差額 (14) = (10) + (13)	102,589,754	90,229,782	12,359,972	
繰越活動収支差額の部		前期繰越活動収支差額 (15)	266,724,511	199,129,347	67,595,164
		当期末繰越活動収支差額 (16) = (14) + (15)	369,314,265	289,359,129	79,955,136
		その他の積立金取崩額 (19)	0	85,704,000	-85,704,000
		その他の積立金積立額 (20)	58,349,311	108,338,618	-49,989,307
		次期繰越活動収支差額 (21) = (16) + (17) - (18) + (19) - (20)	310,964,954	266,724,511	44,240,443

資金収支計算書

(自) 平成23年4月 1日

(至) 平成24年3月31日 (単位:円)

	勘 定 科 目	本年度決算	前年度決算	増 減	
就労支援事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	32,571,636	27,813,784	4,757,852
		就労支援事業活動収入計 (1)	32,571,636	27,813,784	4,757,852
	支出	就労支援事業販売原価	30,348,821	26,833,512	3,515,309
		販売費及び一般管理費	0	2,030,477	-2,030,477
	就労支援事業活動支出計 (2)	30,348,821	28,863,989	1,484,832	
	就労支援事業活動収支差額 (3) = (1) - (2)	2,222,815	-1,050,205	3,273,020	
福祉事業活動による収支	収入	介護福祉施設介護料収入	242,186,207	245,128,160	-2,941,953
		居宅介護支援介護料収入	3,760,140	4,819,120	-1,058,980
		利用者等利用料収入	73,941,166	73,996,616	-55,450
		自立支援費等収入	308,291,631	264,192,830	44,098,801
		補助事業等収入	26,596,565	70,468,962	-43,872,397
		その他の収入	225,795,863	292,393,793	-66,597,930
		福祉事業活動収入計 (4)	880,571,572	950,999,481	-70,427,909
		支出	人件費支出	426,619,747	409,710,111
	事務費支出		84,561,239	91,060,333	-6,499,094
	事業費支出		51,799,825	51,358,979	440,846
	その他の支出		170,205,674	267,292,932	-97,087,258
	福祉事業活動支出計 (5)		733,186,485	819,422,355	-86,235,870
			福祉事業活動収支差額 (6) = (4) - (5)	147,385,087	131,577,126
	施設整備等による収支	収入	施設整備等収入計 (7)	0	19,403,000
支出		施設整備等支出計 (8)	36,534,953	83,600,929	-47,065,976
		施設整備等資金収支差額 (9) = (7) - (8)	-36,534,953	-64,197,929	27,662,976
財務活動による収支	収入	財務収入計 (10)	634,698	139,297,027	-138,662,329
	支出	財務支出計 (11)	96,632,331	197,715,760	-101,083,429
		財務活動資金収支差額 (12) = (10) - (11)	-95,997,633	-58,418,733	-37,578,900
予備費 (13)		0	0	0	
	当期資金収支差額合計 (14) = (3) + (6) + (9) + (12) - (13)	17,075,316	7,910,259	9,165,057	
	前期末支払資金残高 (15)	152,677,934	144,767,675	7,910,259	
	当期末支払資金残高 (14) + (15)	169,753,250	152,677,934	17,075,316	

ディアクティビティセンターWIN



WINグループ

WINグループでは、午前中に「個別活動」を行っています。創作活動やスヌーズレン・ボールプール・ラジオ体操など、ご本人の希望に合わせて行っています。午後は「レクレーション・軽運動（ボーリング、ゲートボールなど）・パネルシアター」「音楽活動」「カラオケ」「個別活動・散歩」をローテーションで行い、多くの利用者に様々な活動を楽しんでいただいています。今後も利用する方個々の能力や適性に応じた様々な活動プログラムを提供していきます。



銀河グループと合同でカラオケを行っています。

天気の良い日には散歩をして体を動かします。



創作活動がんばっています。集中して取り組んでいます。

音楽活動では歌や楽器、手遊びなどを楽しめます。



個別活動中。ブロックを積んで何を作るのかな？

銀河グループ

昨年度から銀河グループで行われている誕生日会を今年度からWINグループと合同で行う事になりました。職員による出し物、全員で歌を歌うなど各月ごとに担当者を決め趣向を凝らした活動を提供しています。またその月の誕生日の利用者にはカードを贈呈し、誕生日会終了後は各グループに分かれお菓子とジュースでおやつを食べます。五月の誕生日会では職員による手品を行い利用者に好評でした。今後も多くの利用者に普段とはまた違う楽しい時間を過ごしていただくよう誕生日会を提供していきます。

誕生日会の様子



施設長挨拶

ディアクティビティセンターWIN施設長 阿由葉 弘美

日頃より施設運営に対しまして御理解、御協力をいただき心より感謝申し上げます。

ディアクティビティセンターWINは、新体系に移行し、新年度を迎え新たな一歩を踏み出しました。銀河グループとWINグループに分かれてはおりますが、一体となって、利用者の方々との絆はもちろん、その方を取り巻く人々や関係機関との絆を深められるよう、よりいっそう努力したいと思います。

また利用者の皆さんの気持ちに応え、いつも明るく優しい気持ちを忘れず、心に寄り添う支援を心掛けていきたいと思っておりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

両毛圏域障害者就業・生活支援センター

●23年度の実績（昨年度の実績）

登録者数	支援件数	訓練実習件数	就職者数
393 (329)	1318 (1049)	39 (39)	59 (80)

23年度の栃木県における障害者の就職件数は過去最高の907件（ハローワークを通じたもの）。制度の改正などにより、企業の関心が高まった事や、支援体制が充実してきた事が要因と思われます。しかし、まだまだ、不安定な雇用情勢の中、障害者雇用も厳しい現状が続いていますので、今後も、関係機関と連携を図りながら、社会と障害者を繋ぐ役割を担っていけるよう努力していきたいと思っております。

ジョブモールでの相談支援

4月に宇都宮にオープンしたジョブモールの専門相談窓口で、障害者の就業や就業に伴う日常生活、社会生活の相談を受けることになりました。

栃木県内6か所の就業・生活支援センターが協力し、毎週木曜日の13:00～16:00に相談を受け付けています。

専門性を活かし、就労や就労生活に役立つ情報を提供していこうと思います。



グループホーム・ケアホーム

お誕生会はみんなでお祝いしています!!

グループホームでは、利用者の皆さんの「お誕生会」を毎月行なっています。

お誕生日を迎える利用者さんがいない月には、人気メニューの手巻き寿司やお好み焼きなどを夕食に用意して「お楽しみ会」を開催しています。いつもよりちょっぴり豪華な食事で楽しく過ごしていただいています。今後も皆さんに楽しんでいただける企画を考えていきます。



放課後等デイサービス ビタミンクラブ

知的な障害を持つ児童が日常生活における基本的動作を習得し、日常生活・集団生活に適應することが出来るよう、身体及び精神の状況並びに、そのおかれている環境に応じて適切な支援及び訓練を行い、利用者の個性を尊重しつつ最大に伸ばして、楽しさと満足感を感じながら成長できるように支援をしていきます。今年度より児童デイサービスから名称等が変わりましたが、スタッフ一同新たな気持ちで利用者の支援を行い、成長に期待をしていきたいと思ひます。



日中一時支援事業 スマイル

日中において活動場所が必要な障害児者を対象としたサービスで、活動する場を提供し、見守り及び社会に適應するための日常的な訓練を行うとともに、障害児者を持つ家族の就労支援と日常的に介護している家族の一時的な休息等の支援を行っています。また、必要に応じて本人及び家族の介護負担の軽減としてタイムケアサービス（要相談）も行っています。



特別養護老人ホーム 青空



施設長挨拶

特別養護老人ホーム青空 施設長 阿由葉 誠

初々しい若葉も一雨ごとにたくましさを増し、強い日差しに備えるころとなりましたが皆様お元気でしょうか。今回は青空デイサービスについてご紹介いたします。デイサービスでは毎月旬な情報と月刊予定を掲載した「あおぞら通信」を発行しています。いろいろな行事がありますが、中でも好評なのは外出と手作りおやつです。外出場所は季節に合わせた花見（桜や紫陽花）やショッピング（イオンやパン屋さん、ドーナツ屋さん等）です。中にはこの時ばかりとへそくりを持ってきて買い物にいそしむ姿があったとか無かったとか？いずれにしても、たくさんの笑顔が見られました。また、手作りおやつは、やはり季節に合わせた「おはぎや柏餅、草餅等」人気のものばかりです。興味がある方は是非のぞきに来てください。心よりお待ちしております。

ふれあいのつどい

平成24年5月27日、足利市民体育館にて第32回「ふれあいのつどい」が開催されました。

ふれあいのつどいは、こどももお年寄りも、障がいのある方もみんなでふれあい、楽しい時間を過ごすと共に、お互いに理解を深めることを目的としています。

青空も毎年、利用者様の作品の展示や活動の紹介などを行っております。

たくさんの方がご来場され、楽しんで頂きました。

レクリエーションの取り組みの一部を紹介しました。身の回りにあるものを工夫することで、利用者様と一緒に作成し、笑顔いっぱい楽しんでいます。

当日もたくさんの子供たちに体験して頂きました。



デイサービスセンター青空

デイサービスセンター青空では、季節感を大切にした様々な行事やレクリエーション、外出支援を行い、皆さんに楽しんで頂いています。その中で今回、好評な「手作りおやつ」の一部を紹介したいと思います。

利用者様と一緒に楽しみながら作るおやつは、手作り感たっぷりて手間をかけた分、おいしくなります。

これからも皆様喜んで頂けるような取り組みをしていきたいと思ひます。



柏餅



鬼まんじゅう



酒まんじゅう



手作りのクッキー



お好み焼き



よもぎ団子



足利障害者相談支援センター

23年度は実人数で、者:459人、児:98人 計557人の方から5394件の相談がありました。また、ケース検討会は89回開催し、90件の検討を行いました。

23年度までは市からの委託を受けて、相談支援専門員を派出させていたため、法人内での相談事業業務は行われていませんでしたが、24年4月からの改正を受けて、利用者全員の利用プラン作成を行うため、特定相談支援事業・障害児相談支援事業の申請を行い、指定を受けました。今後は委託相談支援センターの業務は変わらず、本部の相談センターでは利用プラン作成を行う相談センターとして活動を行っていく事になります。従事する相談支援専門員も増える予定でありますので、ぜひ、ご利用ください。(足利市では特定相談支援事業・障害児相談支援事業の指定を受けた相談事業所は3か所しかありません)

- ・困った時にはすぐご連絡を！ ☎0284-44-0307 (電話相談24H、365日対応) 相談支援専門員 尾澤まで
- ・利用プラン作成はこちらにご連絡を！ ☎0284-43-0414

足利むつみ会後援会

平成23年度報告

平成24年3月31日現在

・会員拡大及び会費収入内訳

会員数	144人	2団体	(前年度 148人)	2団体	単位：円
法人会員	2団体	(前年度 2団体)	@ 30,000 ×	2口 =	60,000
個人特別会員	35人	(前年度 39人)	@ 10,000 ×	37口 =	370,000
個人会員	109人	(前年度 109人)	@ 3,000 ×	1,227口 =	3,681,000
合 計					4,111,000

・資金造成

寄 付 先	寄付金額	寄付年月日
社会福祉法人足利むつみ会	4,000,000円	平成24年3月30日

・会議の開催

開 催 日	会 議 名	備 考
平成23年5月24日	第14回定期総会	平成22年度決算、平成23年度予算等について
平成24年3月14日	役員会	平成23年度決算見込み、平成24年度予算案等について

・会員参加事業

月 日	行 事	参加数	備 考
平成23年 9月30日	足利むつみ会秋祭り	約500名	屋台等ボランティア50名含む
平成23年10月 9日	青空秋祭り	約200名	屋台等ボランティア40名含む
平成23年12月16日	足利むつみ会クリスマス会	約200名	余興等ボランティア40名含む

平成23年度収支決算書

自平成23年 4月 1日
至平成24年 3月 31日

収入の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
会 費	4,200,000	4,111,000	△ 89,000	内訳は事業報告参照
寄 付 金	0	0	0	
預 金 利 息	1,000	630	△ 370	
前年度繰越金	504,305	504,305	0	
合 計	4,705,305	4,615,935	△ 89,370	

支出の部

単位：円

科 目	予算額	決算額	増 減	摘 要
法 人 寄 付 金	4,000,000	4,000,000	0	法人施設整備等
通 信 費	10,000	3,640	△ 6,360	切手、手数料
印 刷 費	30,000	12,432	△ 17,568	通知・資料・広報誌等
消 耗 品 費	5,000	2,767	△ 2,233	コピー用紙
会 議 費	40,000	14,400	△ 25,600	役員会・定期総会費用
慶 弔 費	50,000	0	△ 50,000	
予 備 費	570,305	0	△ 570,305	
合 計	4,705,305	4,033,239	△ 672,066	

収入合計 4,615,935

支出合計 -4,033,239

差引残高(繰越金) 582,696 左記の金額を次年度繰越金とする。

例年、皆様に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今年度も引続きご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
また、平成24年5月22日に開催された定期総会において、本法人から感謝状の贈呈を受けましたことをご報告申し上げます。

